

いとうひでき

いとうひでき、の考え方、全部丸分かり

キラキラみなと、大作戦

いとうひできの港区政への③つの提言

★ 区政をキラキラ

区議定数削減・通年区議会の開催を通じて、区政のアップグレードを。

23区平均に照らして過剰な34名もの定数を削減(1~2割)することで、少数精鋭の区議による徹底した討論を行います。また、区議はパートタイムではなくフルタイムとするよう、一年中区議会を開き、“給料(年収900~1300万円)に見合った活動量”を求めます。

平成19年区議選時のデータ：港区(有権者156,000人÷定数34名=約4,600人に一人の区議)
(参照)23区平均 有権者6,911,000人÷総定数913名=約7,570人に一人の区議

★ 暮らしをキラキラ

1300億円といわれる区基金(貯金)を積極活用して、景気回復の努力を。

都内各地で再開発が進行し、港区の比較優位が薄れつつあります。大型開発は今後とも必要ですし、緑と水の空間を生み出すためにも必要です。さらにここに、特に商店街の活性化と、“買い物難民”の解消、という観点を盛り込み、『働きやすく、暮らしやすい港区』を目指しましょう。

★ 子どもがキラキラ

少子化対策のさらなる充実、特に、待機児童問題の全面解消を。

デフレの構造要因は人口減少による潜在需要減少。英誌「エコノミスト」でもようやく同様の論評が出ましたが、日本の成長阻害要因が人口問題であることは寧ろ世界が心配していることです。単に福祉の観点からだけではなく、成長のため本格的に少子化問題に取り組むことが必要です。例えば、幼稚園は文科省・教育委員会、保育園は厚労省・子ども家庭課という行政の縦割りを改め(幼保一元化)、行政が一丸となって取り組むことが必要です。



教育問題は全住民の関心事。

教育問題は、何もお子さんのいるご家庭、特に公立小・中学校等へ通わせているご家庭だけの問題ではありません。

国際競争が激化している現在、そして人口減少が著しく進行し、かつ資源の乏しい日本においては一人当たり生産性を飛躍的に向上させる必要があります、そのためには教育の充実が全国民の課題と考えます。また、このために「ゆとり教育」から脱して学習指導要領を充実させる必要がありますが、そのためには公立学校教育の底上げが喫緊の課題です。

✦ もっと開かれた「教育委員会」を！

教育委員会定例会を傍聴してきました。せっかく“傍聴可能”としているのに、傍聴席もほとんどなく、そもそも傍聴者がいることを前提にしていない会議のやり方で、閉鎖的との印象を受けます。幸い港区は教育に対して潤沢な予算を配分できる環境にあります。だからこそ、区立施設に通わせている父兄以外の一般の区民に対しても、もっと情報開示に積極的になるべきだと考えます。全国的にイジメによる自殺問題が深刻化している中で、教育委員会は“子ども達のいのちを守る機関”でもあるのですから。

✦ 「指導力」の計測を！

国による「全国学力・学習状況調査」が抽出方式となったために、今年度（平成22年度）は港区立の小・中学校では、全校希望とし実施したものの、その結果は公表されないこととなってしまいました（教育委員会によれば、各校での独自採点となったため、“バラつき”が生じ、公表に不適となった、としている。— 殆どが記号選択回答にも拘わらず）。

前年度まででも平均点のみの公表で、港区は全国や東京都に対して高いとされていますが、これは主として住民の平均所得が高く、塾に通っている児童が多いため、と思われます。区立小・中学校教諭の指導力、について客観的に計測し、向上を促す仕組みが必要と考えられます。

いとうひでき、は民主党・日教組による教育改悪に反対します！

✦ 反社会的勢力（暴力団）の一掃、麻薬・違法薬物対策の充実を！

近年、芸能人による麻薬事件が相次ぎ、残念なことに港区はその舞台となっていました。また赤坂地区の暴力団事務所問題も解決には至っていません。港区役所・区議会は一体となって、毅然と暴力団一掃に向け、努力を続けるべきです。麻薬その他の違法薬物を港区から根絶すべく、様々な施策を取るべきだろうと考えます。

✦ 防犯カメラや「みんなとパトロール」の充実で、通学路をより安全に！

変質者による子どもを狙った犯罪は後を絶ちません。一番危ない、とされている夕方の通学路、に現在実施されている「みんなとパトロール」を集中的に巡回させることが必要です。また、未遂に終わったケースからも積極的に不審者が割り出せるように、防犯カメラの設置を充実させるべきだと考えます。

✦ 待機児童問題について、“区を挙げての” 取り組みを！

港区においても深刻な待機児童問題：幼稚園を所管する教育委員会は“自分たちの問題ではない”という姿勢があるようです。平成22年度港区立幼稚園募集結果によれば、3歳児保育を展開している白金台・中之町・にじのはし、の3園では募集抽せん倍率が1.5～4倍程度、と3年保育の要望が強い中、平成23年度では芝浦・高輪・港南の3園が新たに3年保育をスタートさせます。この取り組みを更に推進します。また、延長保育も高輪・にじのはし、の2園のみで、拡充が必要です。

いとうひでき、は民主党による「幼保一体化」に反対し、「幼保一元化」による事業者と保護者、そして子どもがハッピーになる方法を提唱します！

✦ 介護施設の充実を！

子どもの保育と並んで、現役世代に重く押し掛かっている問題として、「介護」が挙げられるでしょう。家族なんだから、自分たちで「介護」する…というのは確かに理想ですが、それが仕事に負担となって生活を圧迫するのが現実でもあり、公的サポートは拡充させなければなりません。

また介護保険制度において介護士さん達の劣悪な環境の下でのハードワークを軽減する意味でも、介護が必要なお年寄りには積極的に施設を利用して頂いて業務の効率を良くして頂くことも考えるべきではないかと思えます。

✦ さらなる医療機関との連携で、「健康リスク管理の充実」を！

一昨年猛威を振るった新型インフルエンザのように、国際的なヒトとモノの移動が高まった現代社会で、新しい病気のリスクも上昇しています。ワクチン接種を巡って区役所と医療機関の間に連携不足が見られ、医師の不満が高まっていると聞きます。根本的には国レベルで厚労省の危機管理能力の欠如が原因になっていると考えますが、一方で、仙台方式のように自治体の努力でとても有効かつスピーディな対応がとれた事例もあります。港区独自の「健康リスク管理」をアップグレードする努力をしていきたいと考えます。



✦ コラム ✦

ウサギのおじいちゃん

子どもが出来て港区に引っ越してきた私ですが、ここは既に第2の故郷となっています。引っ越した当初はご近所に知り合いもなく、また小さい子どもも少ない地域でしたが、ご近所さんのお年寄りの温かい目で見守られた生活だったと感じています。路地で子どもが縄跳びの練習をしていると、おじいちゃんが出てきて、跳んだ回数を数えながら微笑んで見て頂けました。子どもはおじいちゃんの名前は分からないのですが、そのお宅でウサギを飼っていらっしやっただので、「ウサギのおじいちゃん」と呼んで大変懐きました。しばらくしておじいちゃんが救急車で運ばれると、「ウサギのおじいちゃん、大丈夫かなあ〜」と心配しました。

家族・親族で3世代、それ以上の大家族、というのは理想ですが、転勤など様々な事情で港区内には3世代同居は難しいのが現状です。しかし、こうしたご近所さんレベル、コミュニティ・レベルでの3世代同居、によってお年寄りも子供も健やかに暮らすことが出来ます。

ただし、“ムダ”は排除

◆「(仮称)政策創造研究所」って必要?

武井区長は“先進性の高い創造的な区政運営をより一層推進するため、学識経験豊富な専門家を交え、豊かな発想で港区ならではの解決策を提案していただく、新たな仕組み”として政策創造研究所を立ち上げる、としています。詳細は今年2月にプレス発表が為されるようですが、本来、外部有識者を含めて意見を聞き政策提言するのは区長の仕事であって、過度な予算などが配分されないよう監視が必要です。

◆「国際学級」は必要か?

港区は“国際教育の推進”を掲げて、外国人子弟を区立小中学校に通わせるための国際学級を企図しています。多くの外国人に恵まれた港区で交流を推進する必要は感じますが、そもそも教育目的が異なるのに、国際学級が必要でしょうか?また、そのための膨大なアンケート調査費も無駄に感じます。



そのほか港区政で論議されている諸項目

◆「外国人地方参政権付与法案提出」の慎重な対応を求める意見書採択を要望する請願

平成22年2月26日に付託されたこの請願は、同年3月18日に異例のスピードで「不採択」となりました。この請願に反対したのは、民主党(除く退席1名)・公明党・共産党および小齊太郎区議(現:みんなの党)です。

いとうひでき、は、この請願に賛成します。

◆港区の「朝鮮学校児童生徒保護者補助金」を廃止する請願

まだ審議されていません。いとうひでき、はこの請願に賛成します。

◆港区立幼稚園における在園児兄弟姉妹優先枠の設定および地域優先枠の設定に関する請願

平成21年11月27日に受理・付託された、この請願はまだ審議されていません。兄弟姉妹が別々の幼稚園に行かなくてはならない、あるいは、家から遠く離れた幼稚園に通わなくてはならない、というのは保護者や子ども達への負担が大き過ぎると思います。いとうひでき、はこの請願に賛成します。

◆港区議会の本会議場に国旗の掲揚を求める請願

平成22年9月17日に受理・付託されています。区民のために真摯に議論をする本会議場に常に国旗を掲揚し、区議がこれを敬いながら仕事をする、は当たり前のことです。なぜ、この請願が未だに採択されていないのか理解に苦しみます。



区政で終わらない、終わらせない：区民の意思を都政、そして国政へ。

政治という世界で活動する以上、現実問題として“区だけでは出来ない”ことが多いことを念頭に置く必要があります。妙な言い方をすると、東大法学部を卒業した私にとって、霞が関も永田町も全く怖いところではありません。

区議会の中だけでは難しいことも、恐れず都政、そして国政へ提言する能力を発揮して、区民の意思をトップにぶつける姿勢で臨みたいと思います。

✦ 宗教法人施設を精査し、固定資産税の適正徴収を。

景気低迷のなか、一部の新興宗教法人が不動産取得とビル建設を加速しています。この港区内にもそうした施設が急増し、景観を損ね、周辺住民に不安感を与えています。“信教の自由”は確かに憲法上認められた重要な権利ですが、だからといって、野放図に非課税措置が認められていいという訳ではありません。道路や上下水道の利用から、ゴミ出しに至るまで、市民サービスを受ける以上、サービスに見合った負担（税負担）が信教の自由を侵すもの、とは考えられません。

税収低迷に喘ぐ日本において、少なくとも、信者や、場合によっては一部の教団幹部が居住用として用いている施設については非宗教活動施設として一般の固定資産税徴収を行うべきでしょう。

景気回復策と財政再建

✦ 内需主導による景気回復を優先。

サブプライム・ローンやリーマン・ショックに端を発する世界的金融危機による景気低迷、と言われますが、バブル崩壊後、すでに「失われた20年」～日本経済は内需主導型の本格的な景気をまだ達成できていないのです。ごく短い間、景気が上がったような時期もありましたが、すべてアメリカや中国、という外需頼みの回復でした。

✦ みんなの党・日銀法改正では、中小企業にオカネは回らない。

これに対して「みんなの党」は何故か景気回復のための日銀法改正を主張し、参院選終了後、唯一の議員立法として提出しました。これは物価上昇目標を設定・宣言し、日銀が資金供給すれば「デフレが解消し、景気がよくなる」ということのようなのですが、政府が物価上昇を宣言すればデフレがインフレになる訳ではないことは子どもでも分かることです。そして、更に重要なのは、日銀の資金供給が増えても銀行間で資金が回るだけで、ヘッジファンドは儲かるかもしれませんが、我が国の中小企業に資金供給が回るわけではない、ということです。

✦ 鍵は不動産取引の活性化、にある。

良し悪し、は別にして、我が国の企業金融の根底には不動産担保主義があります。バブルが崩壊して土地価格が下落したままの状態では、企業の担保余力が弱く、十分な資金供給を受けられません。

✦ 国は積極的な国有地化で不動産市場の下支えを。 そして、日銀は国有地担保証券の直接引き受けで不動産市場への資金投入を。

土地売却が思うように行かずに価格がドンドン下がってしまう…ということを防ぐために、国は基金を創設して一定価格での引取り（国有地か）を保証することが求められます。この基金は買い入れる土地（国有地）を担保とする担保証券を発行し、日銀はこれを直接引き受けることで不動産取引市場に直接資金投入することが求められます。これは赤字国債ではなく、また、担保が付されていることで日銀のバランスシートを毀損することにもなりません。

\ わたしは、いとうひでき、を推薦します! /

早川忠孝氏



渡邊由紀子氏



早川 忠孝 氏

(前衆議院議員、自民党埼玉4区、弁護士)

+
+ ブログにて政治・法務の評論を手掛け、著述などで後進の育成に当たられる。

渡邊 由紀子 氏

(税理士、渡辺資産税税理士事務所(南青山)代表、相続税が専門)

渡辺資産税税理士事務所ホームページ <http://w-shisanzei.com/>

阿久津 正志 氏

(弁護士、阿久津総合法律事務所(港区西新橋)、大学の後輩)

武田 宗典 氏

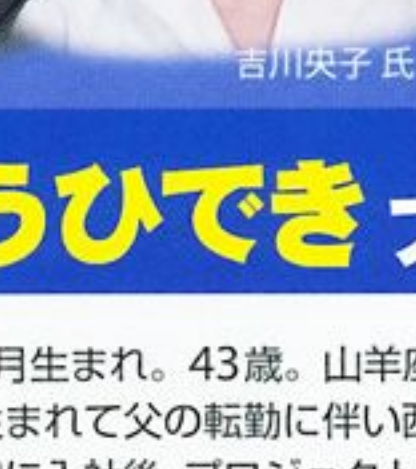
(能楽師、観世流シテ方、中野坂上・武田修能館にて謡サロンを主宰)

武田宗典ホームページ <http://takedamunenori.com/>

武田宗典氏



吉川央子氏



吉川 央子 氏

(昭和大学腎臓内科出身、内科認定医、腎臓専門医、透析専門医、高輪在住)

いとうひでき プロフィール

1968年1月生まれ。43歳。山羊座のO型。

大阪府で生まれて父の転勤に伴い西日本を転々。ラ・サール中学・高校を卒業後、東京へ。東京大学法学部卒業。日商岩井(株)に入社後、プロジェクト・ファイナンスを担当して、メキシコやブラジルへも。その後、JPMorgan・Morgan Stanley・ドイツ証券、外資系証券などで勤務。専門はデリバティブ商品の開発及びマーケティング。法務・財務・経理のプロ。

2009年、港区選挙区から都議選にチャレンジ。無所属新人としては異例の5410票を獲得するも落選。現在、浪人修行中で港区政にチャレンジ。

子どもの誕生を機に職場に近い港区へ。共働きで、私立/区立の保育園、私立幼稚園へ通わせました。港区民歴13年。港区はいとうひでき、の第2のふるさと、です。



いとうひでき

へのお問い合わせは

電子メール

hideki@itohideki.jpへ

ホームページ：<http://itohideki.jp>

ブログ：<http://ameblo.jp/ito-hideki/>

mixi (mixi キーワードで、いとうひでき、を検索して下さい)

Twitter (ユーザー名 itohideki)

Facebook (Hideki Ito で顔写真が出ています)

もご参照ください。

